

「2016年オリンピック競技決定に対するコメント」

この度コペンハーゲンでの IOC 総会において、ゴルフがオリンピックの正式競技として採用されたことは、この上ない喜びであり、心から国際オリンピック委員会、日本オリンピック委員会、そしてここまでその実現の為に努力を重ねてきた国際ゴルフ連盟 (IGF) を始めとする関係者の皆様に感謝と御礼を申し上げます。

今回の正式決定により、今後、ゴルフに対する国民スポーツとしての関心の高まりやオリンピックの舞台での日本代表選手の活躍への期待も高まってくることが予測され、我々もその責任の重さを痛感しております。

オリンピックは、世界のアスリートの夢の舞台であり、この夢の舞台への参加が実現致しましたことは、世界のゴルフ水準をさらに向上させるとともに、未来のゴルフ界を担うジュニアゴルファーの裾野を広げるなどゴルフ界の発展に大きく寄与するものと考えます。

私どもといたしましては、今後、国際ゴルフ連盟 (IGF) を中心に検討が進められる競技方法、参加資格条件等の具体的な内容を踏まえ、世界の舞台で活躍できる選手の育成・強化方策やオリンピック日本代表選手の選考のあり方などについて、ゴルフ競技 4 団体が連携・協力を図りながら国民の期待に応えられる結果を得られるよう、2016 年に向けて計画的に対応して参りたいと考えております。

皆様方には今後ともより一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(財) 日本ゴルフ協会 会長 安西 孝之

(社) 日本プロゴルフ協会 会長 松井 功

(社) 日本女子プロゴルフ協会 会長 樋口 久子

(社) 日本ゴルフツアー機構 会長 小泉 直